



鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

令和4年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/

●令和2年10月20日、鷹山宇一作品8点を七戸町に寄贈されました。中央「高原」。向かって左側に濱中達男先生、右側は小又勉七戸町長



▲鷹山宇一「高原」1966(s41)年 キャンバス・油彩

「忘れえぬ人 II」

美術館復帰後最初の大仕事に、私はランプ館の展示替えを所望した。春の鹿内コレクション展、夏のGOMA展、秋の戸村春樹展、などなど目白押し。の事業を抱え、我が美術館学芸員は依然あらゆるものとの奮闘に明け暮れ休まる日がない。そこで、名乗りを上げることにした。丸8年のプランクを全集中で埋めていく。ここに私の鷹山宇一の小宇宙をつくらう。コレクションの洋ランプに館収蔵作品をコラボする。入れ込む作品はもう心に決めていた。28年前、念願の美術館開館を成し遂げたあの方々への想いは忘れてはならない。初心に帰らう。ランプ館は、「精鋭」お一人おひとりのお顔が臉に浮かぶ、そんな懐かしい空間に仕上がった。

昔も今も当館の壁面は、町・財団所有の十数点のほかは、町民有志の個人がお持ちの作品を長期間お預かりすることで成り立っている。郷里ならではの旧交から各家に伝えられてきた若い頃の作品に加え、美術館開設に備え購入してくださった方々も多い。一言では語り尽くせぬ熱い思いが沢山詰まった鷹山美術館なのである。美術館建設運動の柱であった財団法人常務理事・濱中達男先生もそんなお一人で、開館した平成6年からメインの壁面の常連であったこの「高原」は、令和2年に町にご寄贈くださった作品だ。

いわゆる鷹山グリーンと白馬に象徴される、一見、馬産地・七戸ならではの牧歌的な作品と思わせるが、果たしてそれだけではないだろう。白馬を自分に擬えた時、何を思うだろうか。乗り越えねばならない険しい山を前にただ一人、様々な陰険、孤軍。しかし、蝶たちはあくまでも優しく、寄り添い、見守っている、決して一人ではない。でも、地に足をつけ歩んで行くのは私以外ほかにはなく、前へ、前へ歩を進めなければ「山」は越えられない。地道に、少しずつでも、しっかりと、一歩を踏み出せ、そしてまた一歩。オーナーであった先生がそうお感じになられていたかどうかはわからない。が、今は私もその白馬であるのだと、蝶となった濱中先生にいつまでも見守っていただきたい気持ちでこの作品と向き合っている。この1月、宇一先生の待つ彼の地へと、先生は旅立たれた。

鷹山宇一記念美術館とは何ぞや。その揺るぎない哲学は次の世代へと繋いで行きます。本当はすごく寂しい。けれど、長年お疲れ様でした。そして、ありがとうございます。

(副館長 大沢田亜希子)

鷹山宇一記念美術館友の会

令和4年度通常総会開催

令和4・5年度 役員紹介

会長	下山恭美子(再任)
副会長	奥山雅子(再任)
事務担当	戸舘榮一(再任)
会報担当	照井壽一(再任)
理事	小川展子(再任)
理事	小林光子(再任)
理事	小向慎(再任)
理事	天間孝栄(再任)
理事	山本洋一(再任)
理事	盛田隆造(新任)
監事	工藤喜代子(再任)
監事	田中淳(再任)

総会では、任期満了に伴う理事の改選が行われ、理事1名、監事1名が選ばれた。また、本年度の収支計算書及び会計計画(案)並びに収支予算書(案)の承認が原案のとおり可決された。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。長い間理事を務められた葛原隆男様有難う御座いました。



大沢 さん(本年4月就任)の挨拶
先立ち(本年4月就任)の挨拶
総会に先立ち(本年4月就任)の挨拶

が左記の通り整いました。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。長い間理事を務められた葛原隆男様有難う御座いました。

鷹山宇一記念美術館友の会令和4年度通常総会が令和4年6月11日午後2時から開催され、令和3年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び令和3年度剰余金処分案、令和4年度事業計画(案)及び会計計画(案)並びに収支予算書(案)等全ての承認議案が原案のとおり可決された。本年度の事業体制が整いましたことを報告します。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



左下記念碑、正面八戸駅

八戸駅東口から徒歩1分、市内に向かつて左側の信号を渡った歩道の車道側に建っている石川啄木(1886年-1912年、岩手県出身、歌人、詩人)投宿の地記念碑を5月下旬に訪問しました。
記念碑は、啄木が、明治37年(1904年)に八戸駅(現八戸駅)前に一泊したことを記念して2003年1月20日に建立され、「(前略)、生は今日午後草庵をいでて鉄車一駆今宵はここ尻内の旅やかたに北遊第一夜の夢を結ばんとす。明日は津軽海峡をこえて後志が国に入らむ。(後略)」という友人が宛てた書簡の一文が刻まれました。旅の目的は、詩集出版の費用を借りるために北海道小樽に住んでいた次姉を訪ねるため、翌29日早朝に尻内駅を立ち、野辺地町に途中下車して浜辺を散策、当日は青森で一泊、翌30日に函館に渡り、函館からは貨物船に便乗して小樽まで行ったそうです。

モニュメントを訪ねて 石川啄木編

八戸市 照井壽一

参考資料等
「青森県と石川啄木」著者 川崎陸奥男、「野辺地ふるさと文学散歩」著者 松田十刻、盛岡市公式ホームページその他

右の写真は、啄木が生涯三度も訪問した野辺地の愛宕公園にある啄木歌碑ですが、歌碑の字体は啄木直筆のペン字を拡大したもので、1962年5月4日に行われた除幕式には啄木の娘京子の夫、石川正雄氏が参列したそうです。
啄木は、1912年4月13日に満年齢26歳と2か月で東京都文京区で亡くなりましたが、盛岡市と文京区は、啄木の生誕の地と終焉の地という「縁」を大切に2019年2月20日に友好都市として提携、盛岡駅前滝の広場に啄木のひ孫である石川真一氏の揮毫による友好都市提携記念碑が設置されたそうです。
啄木没後110年という節目となる今年中に「不來方のお城の草に寝ころびて 空に吸われし 十五の心」とうたった盛岡城址公園に遊び、草はらに寝転んで空を見上げたと思います。



1962年5月4日建立

虹の上をとぶ船 今、あなたに届けたい教育版画

4月17日(日)、
「虹の上をとぶ船」
今、あなたに届け
たい教育版画」が閉
幕しました。美術館
を訪れた方が少し
でも希望や勇気を
感じていただけた
らな…という思い
から企画されたこ
ちらの展覧会。「感
動し



↑作品の一部が登場する、宮崎駿監督の映画「魔女の宅急便」の絵本も一緒に展示しました。

「素晴らしいね」の声が
沢山聞こえてきました。
遠くは福岡からのお客様
様もいらつしゃいまし
た。「本物を見ることが
出来て凄く感動しまし
た。来て良かったです。
元気を貰えますね。」のお言葉をい
ただけて嬉しく思うと同時に、この作品
の持つパワーを改めて実感しました。



鷹山宇一 夢幻の世界に魅せられて 鹿内秀雄・牧子コレクション

6月5日(日)
「鷹山宇一 無限の
世界に魅せられて」
鹿内秀雄・牧子コレ
クション」が無事
に閉幕しました。
本展では鷹山宇一
が描く作品の幻想世
界に魅せられ、鷹山
宇一の作品の収集を
心に決めたという、
青森市在住の鹿内秀
雄・牧子ご夫妻のコ
レクションの一部を
ご紹介しました。
いつもとひと味違っ
ただけたのではない
でしょうか。



鷹山宇一の作品を30点以上展示しました。鹿内さんは初期から晩年までの作品をまんべなく収集しており、年代ごとの移り変わりを楽しむことが出来ました。

レクシヨンの一部を
ご紹介しました。
いつもとひと味違っ
ただけたのではない
でしょうか。

4/29(金)ギャラリートーク

初日には鹿内秀雄氏のギャラリートークを行いました。



鷹山宇一作品との出会い
は青森画廊。油
絵のことはよく分
かからなかったが、
店主が奥から持ち
てきた2枚の鷹山
作品に一瞬で心
引かれたという。
1枚は神秘と幻想
の世界にバラが浮
遊した作品、もう
1枚は、白馬が天
空を駆ける作品。
この日から鷹山
宇一の虜になり、
収集を心に決
めました。など、
鷹山作品との出
会いや魅力につ
いてお話いただき
ました。



20名以上のお客様が集まり、鹿内さんのお話に聞き入っていました。

次回展覧会

青森放送開局70周年記念

GOMA展

この度当美術館では青森放送(株)と共催で、「青森放送開局70周年記念GOMA展」を開催いたします。弘前市出身の新鋭アーティスト「GOMA」の大規模個展を開催します。GOMAさんは自身の発達障がいを経験的に公表し、アーティスト活動を行っています。一切の下書き無しで描く精密で大胆な作品は国内外から注目を浴び、初の大規模個展となる今回は多くの新規描き下ろし作品を公開します。彼のライフワークでもあるボランティア活動から県立七戸養護学校とのコラボ作品、さらに青森ねぶたをフューチャーした展示も予定しています。



詳しくは次のページへ！



国内外から注目を浴びています。

油性ペンを使って描き、繊細で細かい線でありながら、力強くダイナミックな絵が特徴的なGOMAさんの作品。彼の描く独特の世界観は

GOMA profile

青森県弘前市出身。東北女子短期大学卒業後、3年ほど保育士勤務を経て、秋田公立美術工芸短期大学へ入学。卒業後、本格的にアーティストとしての活動始める。2012年『GOMAHOUSE』設立。2015年【JAPANEXPOPARIS2015】にアーティストとして出演。2019年『株式会社 GOMALABO』設立。

斬新で、前例のない作品は、アート界の異端児とされ、アウトサイダーアーティストとも称されます。GOMAさんには二つの発達障がいがあります。一つは集中力がなく、じっとしていられないなどの特徴をもつ脳機能障がい【ADHD】。もう一つは読み書きが困難な【ディスレクシア】。彼は自身の発達障がいを積極的に公表し、アーティスト活動を行っています。



↑本展のメインビジュアル制作中のGOMAさん。制作中の様子を見学させていただきました！下書きが一切無い画面に、「ビル」や「花」など様々なモチーフが次々と描かれていきます。あっという間にGOMAさんの世界観に引き込まれてしまいました。

青森県立七戸養護学校とコラボした、光る「リンゴ」のイルミネーション作品も展示予定!どんな作品になるのかは是非会場でご覧下さい!



夏休み期間中、GOMAさん本人と一緒に楽しむワークショップを開催!



青森放送開局70周年記念

GOMA(風)

2022年7月16日(土) ▶ 9月11日(日)

【開館時間】10:00~18:00 (最終入場 17:30)

【休館日】毎週月曜日 (但し7月18日(月・祝)は開館し、翌日19日(火)を振替休館)

【入館料】一般・大学生1000(800)円、小・中・高生600(500)円

※()内は前売券料金。7月15日(金)まで前売券発売中! (鷹山宇一記念美術館でも購入できます)

※七戸町立鷹山宇一記念美術館発行の入場券・招待券、全ての優待サービスは本展覧会の対象外となります。

関連事業などの最新情報は青森放送ホームページ (<https://www.rab.co.jp>) をご覧ください。

令和4年度
美術館あーとくらぶ



5月22日(日)は、「デコパーージュ」です。バッグにペーパーナプキンをデコパーージュします。デコパーージュは特殊な糊でペーパーナプキンを貼ってコーティングするものです。今回参加された方々は、ベテラン揃い！作業に入る前の説明は「おさらい」にします。ペーパーナプキンが何層になっているかの質問には、小学生のベテラン君が「3枚」と答えてくれます。実は今回メンバーにひとり、美術館の新しいスタッフが紛れていました。皆さんの作業の早さにもちろんついてはいけません。作品の完成一番乗りのベテラン君に、思わずお兄ちゃんの先生になってくれなかなあと冗談交じりで頼んだところ、本当に先生が誕生しました。つき



つきりで指示をし、一緒に作業している様子を見て、みんなではっきり。年に1、2回開催のデコパーージュを自分のものにして人に教えることが出来るということはお家でも制作している成果でしょう。自分仕様のバッグやお孫さん用のバッグ、そして共同制作のバッグが完成しました。最後はみんなで出来映えを鑑賞しました。

※ワークショップ「デコパーージュ」は本来、令和4年3月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため延期となっております。



デコパーージュの工程

いかがでしたか??

デコパーージュは、木、ガラス、缶などいろいろなものに貼ることができます。中にはズックにデコパーージュした作品も。そのときの素材に合わせて糊も種類があります。

もしどこかで、材料を見つけたら手に取ってみてくださいね。

冬に開催のワークショップでもデコパーージュを取り上げる予定です。参加おまちしております。



令和4年度
美術館あーとくらぶ

今年度も様々なものづくりを通して、皆さまと素敵な時間を共に過ごしたいと考えております。

どうぞよろしくお願いたします。

② ペーパーナプキンを切る



① 材料



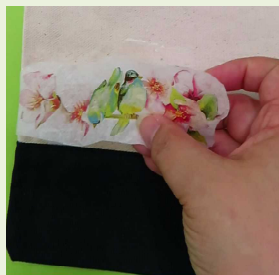
④ 糊を容器に入れる



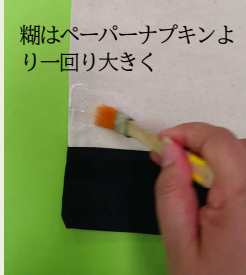
③ ペーパーナプキンを剥がす



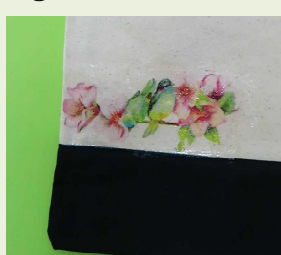
⑥ ペーパーナプキンを貼る



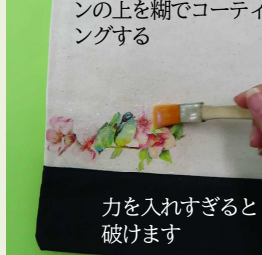
⑤ バッグに糊を塗る



⑧ 完成

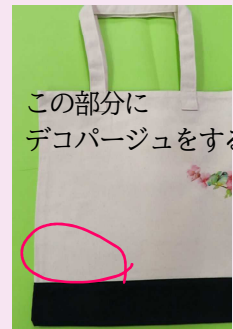


⑦ 貼ったペーパーナプキンの上を糊でコーティングする



デコパーージュ
って何?

デコパーージュは、フランス語で Decouper (切り抜く・切り裂く) を語源としています。
16世紀イタリア・ベネチアの家具職人が日本の漆工芸に魅せられ模倣したのが始まりと言われ、フランスを始め各国に広まりました。
16世紀といえは日本は室町時代後期 安土桃山時代にあたります。こんなに古い歴史があったとは驚きです。



この部分に
デコパーージュをすると

このような仕上がりになります。

(左側①から⑧までが工程です。)



美術館日誌

◆4月◆

- ▼1日(金) 辞令交付式
- ▼5日(火) 青森朝日放送(株)コンテンツ事業部長・葛西様、南谷様ご来館。絵馬館ダウンライト修理
- ▼7日(木) 「GOMA展」打合せ(青森放送・ホールドオン)。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼16日(土) 友の会監査
- ▼17日(日) 「虹の上を飛ぶ」船展最終日
- ▼18日(月) 青森放送(株)・山本社長を表敬訪問(当財団常務理事、副館長)
- ▼19日(火) 戸村春樹展作品写真撮影。展示替え臨時休館(5/4/29)
- ▼20日(水) 青森放送(株)・佐々木様ご来館。当財団収蔵作品監査
- ▼26日(火) 「虹の上を飛ぶ」船展作品撤去作業・青森県立郷土館へ返却(遠藤青森スタジオ)
- ▼27日(水) 「鹿内秀雄 牧子コレクショ」展作品展示作業(青森スタジオ)
- ▼28日(木) 濱田進先生作品返却
- ▼29日(金) 「鹿内秀雄 牧子コレクショ」展初日。鹿内秀雄氏キャラリートーク開催
- ◆5月◆
- ▼6日(金) 当財団会計監査
- ▼7日(土) 友の会役員会
- ▼8日(日) 青森県立美術館 板倉様ご来館(戸村春樹展資料調査)

- ▼12日(木) 友の会研修旅行打合せ。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼14日(土) 当財団第2回理事会
- ▼15日(日) 七彩会
- ▼18日(水) RABラシオ「今日もあさぷり」へ生出演(地域特派員・織川さぶり)へ生出演(地域特派員・織川さぶり)
- ▼19日(木) 戸村家訪問。八戸市立図書館から作品借用(副館長・遠藤織川対馬)
- ▼22日(土) WS「テコパージュ」(織川)
- ▼26日(木) 銅版画家・橋本尚恣様ご来館
- ▼29日(日) 当財団定時評議員会
- ◆6月◆
- ▼2日(木) 「GOMA展」打合せ(青森放送・ホールドオン)
- ▼5日(日) 「鹿内秀雄 牧子コレクショ」展「最終日」
- ▼7日(火) 展示替え臨時休館(5/15)
- ▼「鹿内秀雄 牧子コレクショ」展作品撤去作業。正面玄関看板撤去(青森スタジオ)
- ▼8日(水) 自動ドア定期点検(ナブコシステム)。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼10日(金) 徳島県立近代美術館様ご来館(鷹山宇一調査)
- ▼11日(土) 友の会総会
- ▼12日(日) 七彩会
- ▼15日(水) 消防設備点検(昭和電気)
- ▼25日(土) 友の会会報発送作業
- ▼26日(日) 友の会研修旅行(横手市・秋田近美)

「おおさわだ★あき



こ
▲織田廣喜先生が描いてくださった私の似顔絵、当時2ヶ月の息子と共に。

「ささき★しんじん」



▲この春高校を卒業した社会人1年生です。ご指導のほどよろしく願っています。

2022年 新スタッフのご紹介

お久しぶりです。この4月からお世話になっております。大池です。

丸8年ぶりの美術館でのお仕事。久々に展示替え作業をしました。こんなに楽しいとは！心躍るとはこのように心地なのだ、想像以上の充実感に包まれています。この仕事が大好きだったんだなあ、と、再び携わることができると喜びと、感謝の気持ちでいっぱいです。

異動当初小学3年生だった息子も高校3年生となりました。長かったのか短かったのか？この間、様々なことがありました。大人へと成長していく姿を追いながら、果たして自身はどうだろうか？修行の成果があったとしたなら、ちょっとは私も美術館のお役に立てるのではないかと、これまで温かく見守ってくださった方々からの「たまもの」を、今度は美術館にお返しできたならいいな、そのような思いで戻って参りました。

大切なのは、開館以来の鷹山宇一記念美術館イズム。例えるなら鷹山美術館という木の根っこや幹を腐らすことなく次の世代へと繋いで行くこと。生き方、信念、夢…：当館ならではの心軸をもって、皆様に感動や生きる希望を感じていただけるよう、微力ながら、黒子となって美術館を支えていきたいと思えます。何よりも皆様のご支援とご協力が必要です。変わらぬご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【副館長/学芸員 大沢田(大池)亜希子】

～令和4年度第1回研修旅行のご案内～

日本国家 堀文子 百年の旅展

令和4年度第1回研修旅行を下記のとおり計画致しました。会員各位にはマスク着用のほか感染予防と体調管理に十分ご留意の上、ご参加下さるよう御案内致します。

令和4年度 第1回研修旅行

日時: 令和4年 6月26日(日)

研修先: 秋田県横手市 秋田県立近代美術館

参加費: 10,000円(入館料、昼食代、交通費等含む)

募集人員: 先着30名(最少催行人員は20名)

研修行程(予定)

- 7:00 みちのく銀行十和田支店前出発
 - 7:20 七戸南公民館出発
 - 7:30 鷹山宇一記念美術館出発
 - 11:30 昼食
 - 12:15 秋田県立近代美術館「堀文子展」鑑賞
 - 14:30 同美術館出発
 - 18:30 鷹山宇一記念美術館着～十和田市へ
- ※詳細日程は、後日参加者にお送りします。



「花霞」第37回新作展/
(株)米八グループ所蔵

「一所不住」から生まれた名作たち

◆命の輝きを見つめ、「あるがままに自分を表現」した堀文子(ほりふみこ 1918-2019)。昭和初期から平成の長きに渡り、画壇にとらわれることなく自らの作品を描き続けた堀の姿は、今も尚多くの人々に感動を与えています。本展では、堀が所属した革新的な日本画団体と100歳まで開催した個展の出品作から作品を厳選し、さらにこの度堀の画室から見つかった作品の大小も出品。加えて、戦前から戦後の堀の画風を確立する大きな力となった2人の日本画家、秋田出身の柴田安子と福田豊四郎にもスポットを当てます。常に新たな感動を持ち続けるべく「一所不住」の精神を貫いた、孤高の画家堀文子の作品の変遷をご覧ください。

(秋田県立近代美術館HPより引用)

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

令和3年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き

- ②ミュージアムグッズ1割引
- ③研修会、講演会への招待、優待
- ④他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤会報の配布

○特別会員

年会費 1万円
特典 ①一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

年会費 2万円
特典 ①一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

☆ 会費納入について ☆

美術館窓口、郵便振替に加え下記口座からも納入出来るようになりましたので活用下さい。

- 銀行名 青森銀行 七戸支店
- 口座番号 307337
- 口座名義 鷹山宇一記念美術館友の会
会長 下山恭美子

編集後記

新型コロナウイルスに対する感染防止対策を心がけ、さらに水分、塩分補給等を行い、熱中症対策にも留意して今年の夏を乗り切りたいと思います。皆様のご協力により通常総会無事に終了。心から感謝申し上げます。(照井壽一)